

A Brief Guide to Better Writing for Automotive Engineers

[自動車技術会論文集へ論文投稿する場合の注意事項]

自動車技術会
論文集編集委員会

2017年1月追記：二重投稿について

自動車技術会では自動車技術会論文集（Transactions of Society of Automotive Engineers of Japan）という日本の自動車技術を代表する論文集を年6回（1, 3, 5, 7, 9, 11月）発行しております。

ここでは、この論文集に投稿を予定している皆さんに、論文集の審査を担当する立場から論文審査の実態をお知らせし、論文投稿者が質の高い論文を効果的に執筆するための手助けを行いたいと考えています。

1. 論文審査の概要

投稿された論文の掲載の可否は、論文集編集委員会で選定した第一および第二校閲者2名の校閲結果をもとに**論文集編集委員会で審議して決定します**。上記2名の校閲者の判断が異なる場合や編集委員会での審議により更に校閲が必要となった場合には第三校閲者に校閲を依頼し、計3名の校閲者の報告をもとに編集委員会で審議して論文集への掲載の可否を決定いたします。

この間に校閲者や編集委員会から著者に内容照会を行うことが一般的です。この場合の筆者からの回答や論文修正の意思等は個々の校閲者に送られ、A校閲者への回答がB, C校閲者の審査過程に反映することは一般的にはありません。**校閲者からの校閲報告をもとに編集委員会で審議し、掲載可となった論文については、先の校閲委員への回答に沿った論文修正や編集委員会の審議過程で必要と認められた修正をお願いすることになります。**

第三校閲を行う場合には校閲に時間がかかり投稿者にご不便をおかけする場合がありますが、編集委員会としては学術的または技術的水準の高い論文を読者に提供する責務があり、審査時間の短縮にも限界があります。

2. 投稿規程と執筆要綱

自動車技術会のホームページ（URL: <http://www.jsae.or.jp/11toko/ronkitei.pdf>）に掲載されておりますので、論文投稿の際には必ずお読み願います。

3. 原著と著作権

論文は他（英文誌も含む）に公表されていない**原著(original paper)**でなければならず、原著の定義は投稿規定に記載されています。また自動車技術会論文集に掲載された論文には著作権が発生いたします。

4. 論文の不備

論文の審査はその自動車技術としての独創性、信頼性、完成度、有用性を基準に掲載の可否を判断

いたしますが、論文としての記述が不備のために著者の意図が校閲者に十分伝わらず、評価が下がる場合があります。またこの不備の個所が多数あり、その修正が困難と編集委員会で判断した場合には推敲不十分として掲載否としています。不備として指摘されることが多い項目は以下の通りです。

- (1) 日本語タイトルと英文タイトルのミスマッチ。
- (2) 不完全な英文アブストラクト。
- (3) 不完全な図、表。(縦軸、横軸の絶対値・単位などの表記不足、不適切な英文表題)
- (4) 不鮮明な図。(図・写真については、カラーが可能。但し、印刷は白黒)
- (5) 本文の推敲不足。(テニヲハを含めた完成度、用語の未定義、供試材等の明示不足)
- (6) 従来研究の探索不足。(独創性などの論文の位置付けが不明確、参考文献の不足)
- (7) 学術的な記述が不明瞭。(工学的または工業的有用性などが校閲者に理解できない場合がある。また、商品名・社内用語などの固有名詞を表記。学術論文集は商品名などの表記は不可)
- (8) 実験結果と考察の記述が不十分(最大6ページの紙面を有効に使っていない。講演予稿集のままの原稿にこのケースが多い。)
- (9) 二重投稿の疑い(他の学術誌や出版物へ掲載された論文と内容や主要結論が類似している)
※二重投稿の詳細については本文書の3ページをご覧ください。
- (10) 係争中の案件に直接関与するような内容が無いこと。また、他者を批判したり、誹謗中傷する内容が無いこと。

5. 校閲者はボランティア

自動車技術会では、会員の相互扶助により論文集の質を維持しているため、校閲者には薄謝を差し上げておりますが、数日間の校閲作業に見合う校閲料は支払っておりません。すなわち校閲者はボランティア活動として論文の校閲を行っております。

論文の校閲にあたって、文章の微々細々にわたる校正を行うことを、編集委員会は校閲者に要求しておりません。すなわち前項で掲げたような論文の不備については未完成原稿または推敲不十分な原稿としての判断を校閲者からいただくことになります。

6. ミスタイプ

投稿された論文は基本的に著者の意図にしたがって正しく記述されていることを前提に校閲をします。したがって、数式のミスタイプ等については『ミスタイプ』と善意に解釈する場合だけでなく『明白な理論展開の誤り』と解釈される場合もあります。図表についても同様ですので、内容の吟味、図番の間違い等にはくれぐれもご注意願います。

7. 論文執筆の薦め

自動車技術会・論文集編集委員会では、投稿していただいた質の高い研究論文および技術論文を論文集に掲載し、自動車技術の向上の一助にするため、270名ほどの校閲者を動員して論文集の出版活動を行っています。最近論文集への投稿論文数は増加の傾向にあり、この状態が今後も持続されることを期待しております。

なお、英文の論文投稿も歓迎しておりますので、ぜひ投稿願います。
英文論文集：International Journal of Automotive Engineering
<http://tech.jsae.or.jp/ijae/>

【二重投稿について】

二重投稿とは、印刷物あるいは電子媒体を問わず、既に出版された、ないしは、他の学術誌に投稿中の論文と本質的に同一の内容の原稿をオリジナル論文として投稿する行為です。

以下に二重投稿に関する注意事項をまとめましたので、ご一読ください。

論文の位置付の明示

投稿原稿には、従来研究(技術)との比較対照が明示され、独創性や新規性など論文の位置付けを明示することが必要とされます。

関連する既発表論文がある場合

既発表論文をもとに書いた論文を投稿する場合は、投稿論文に既発表論文に関する引用を、著作権法第 32 条に記述された要件を守り適切に行うことが必要です。また、投稿の際には既発表論文の添付をお願いします。既報の論文を故意に引用しない場合も、二重投稿とみなされる場合があります。

著作権について

著者は、他者からの情報を引用するにあたっては、他者がもつ著作権の存在にも留意することが必要です。論文の内容が他者の著作権を侵害した場合には、その責任はすべて著者にあるものと見なされます。

二重投稿にあたらない場合

以下の(a)の形式で論文投稿する場合は二重投稿にあたらないこととします。また、(b)~(e)の形式で投稿内容の一部あるいは全部が公表され、それらを加筆、翻訳した形で論文投稿する場合も、二重投稿にはあたらないこととします。ただし、関係を明らかにするために、その旨を付記してください。

- (a) 本会が主催、または共催する集会事業（学術講演会、国際会議等）の予稿集、プロシーディングス等。ただし、共催学協会と別途協定が締結されている場合は当該協定に従うこと。また、国際会議のプロシーディングス等の取扱いは当該国際会議の方針に従う。
- (b) 科学研究費補助金の報告書等
- (c) 大学の学士論文・修士論文・博士論文等
- (d) 特許公開/登録公報等
- (e) 新聞記事等

以上